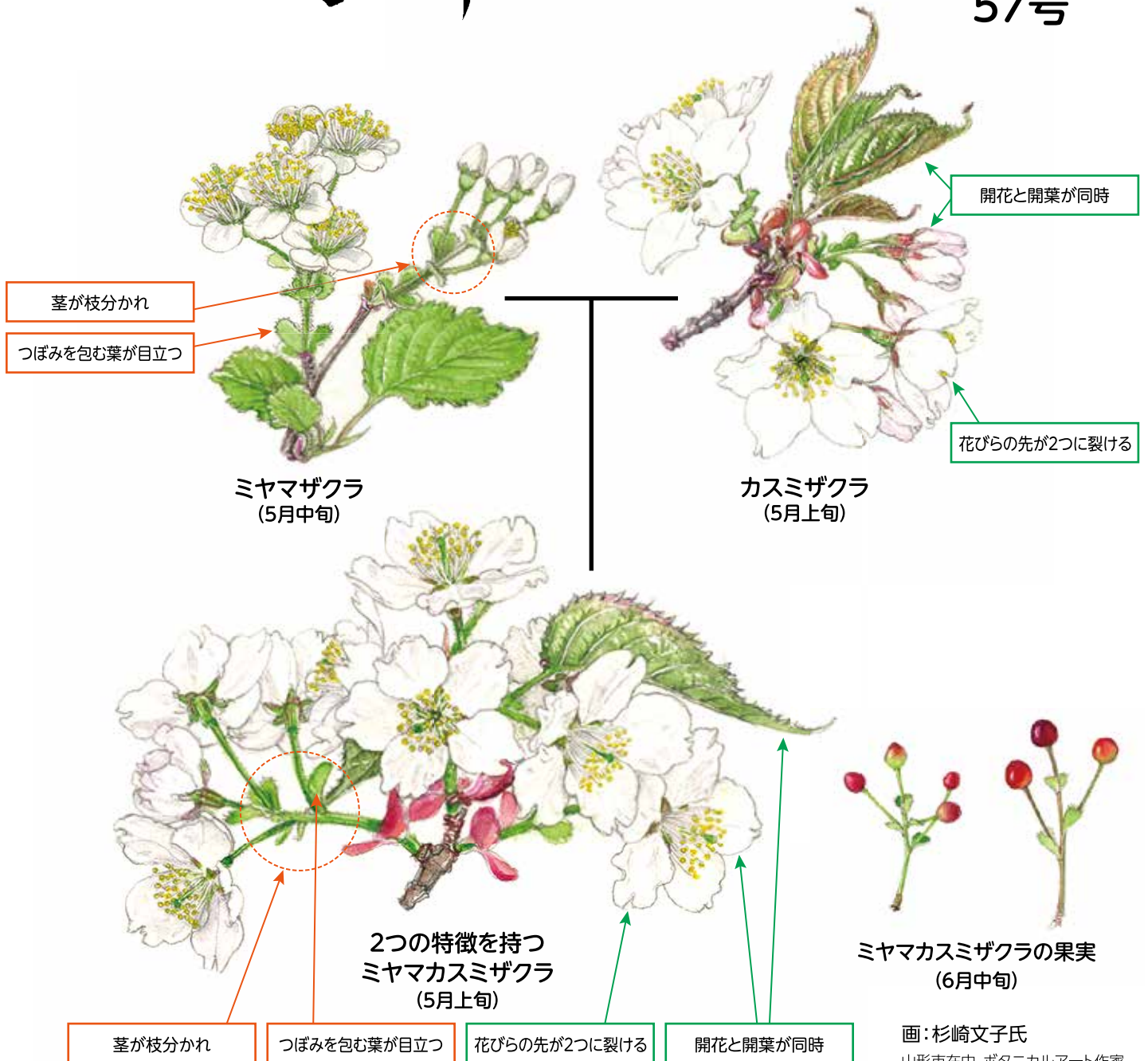


山形市

野草園だより

57号



画：杉崎文子氏

山形市在中、ボタニカルアート作家。
NHK文化センター講師等を務める。

ミヤマカスミザクラ（バラ科）

ミヤマザクラとカスミザクラが野草園内で自然交配して誕生した貴重なサクラです。

平成16年に当時同園職員の志鎌節郎氏が発見し、平成24年に東京大学名誉教授の大場秀章氏によって命名されました。

世界に1本のサクラを後世に引き継ぐため、(公財) 日本さくらの会 さくら専門委員の金田聖夫氏のご協力のもと、接ぎ木による保全活動に取り組んでいます。

また、杉崎ボタニカルアート工房の杉崎文子氏からは細密な植物画で3種の花や葉、果実の特徴を記録していただきました。ぜひ実物も見比べてみてください。

それぞれの

ウツキ 卯月《4月》



ザゼンソウ

3月下旬～4月

仏炎苞と呼ばれる葉が変化したもの、花びらのように見えます。



ミズバショウ

4月

野草園を代表する植物です。白い水芭蕉と紫褐色の座禅草との競演が見事です。

サツキ 皐月《5月》



シラネアオイ

5月上旬～中旬

淡紫色の、大きく柔らかな花が印象的です。白色の白根葵を探すのも楽しみです。



クリンソウ

5月～6月中旬

日本の桜草の仲間では最大種です。真上から見ると打ち上げ花火のように見えます。

ミナヅキ 水無月《6月》



カキツバタ

6月上旬～中旬

青紫色の花びらに、すっと入る、蜜標の白色の筋がとても上品です。初夏を感じる植物です。



ヒメサユリ

6月上旬～中旬

野生のユリでは最も早く咲く日本固有種です。その可憐な姿から、乙女百合とも呼ばれています。

フミツキ 文月《7月》



ヤマユリ

7月下旬

とても大きな花を付ける、日本固有のユリです。芳しい香りで、本格的な夏の訪れを感じます。



ノハナショウブ

6月中旬～7月上旬

ハナショウブの原種です。カキツバタと違って、上品な赤紫色、そして、蜜標は黄色です。

月の人気植物

ハツキ

葉月《8月》



フシグロセンノウ

8月～9月上旬

光の少ない林の中に咲く鮮やかなオレンジの花を見つけた時、驚きにも似た感情を覚えます。



カワラナデシコ

7月中旬～9月中旬

誰でも知っている大和撫子にちなんだ花です。可憐な花は、花びらの先が深く裂けていて、不思議な形です。

ナガツキ

長月《9月》



フジバカマ

8月下旬～10月上旬

藤袴が咲き始めると、渡り蝶のアサギマダラがやってきます。9月下旬が一番の見頃です。



ヒガンバナ

9月中旬～10月上旬

花が咲いているときは葉がなく、葉があるときは花がなく、「葉見ず花見ず」と呼ばれています。

カンナヅキ

神無月《10月》



シュウメイギク

9月～10月

秋の冷やかさを感じる頃に咲く花が、秋明菊です。花が少なくなる時期、とても印象的です。



サンシュユ

10月下旬～

春の黄色い花は「春黄金花」、秋の真っ赤な実は「秋珊瑚」と呼ばれます。

シモツキ

霜月《11月》



ニシキギ

10月下旬～

錦木の名のとおり、鮮やかに紅葉した葉と真っ赤な実が心に残ります。



ヤマモミジ

11月

園内に多くの山紅葉の樹がありますが、場所によって紅葉の仕方が全く違います。

野草園内の 薬草を知ろう 《草本編》

草本とは…
木にならない(木質化しない)植物
(↔木本)

園内には「薬草コーナー」があり、薬草として利用される草本や木本がたくさん植えられています。

薬草コーナー以外にある植物も、薬草として利用されているものが沢山あります。

※実際に薬草を使用する場合は専門家にご相談ください。



オミナエシ
(スイカズラ科)

秋の七草のひとつとして知られている植物。

利用部位：根、根茎
薬効：鎮静、解毒、腹痛



リンドウ
(リンドウ科)

漢方として有名な竜胆(りゅうたん)のもととなる植物。

利用部位：根、根茎
薬効：苦味健胃



ツリガネニンジン
(キキョウ科)

花は釣鐘状、根は薬用人参に似ているのが名の由来。若芽は「トトキ」とも呼ばれ、食用とされる。

利用部位：根
薬効：鎮咳去痰



ゲンノショウコ
(フウロソウ科)

飲めばたちまち効くことから「現之証拠」と呼ばれる。

利用部位：全草
薬効：下痢止め、整腸



ドクダミ
(ドクダミ科)

民間薬としても代表的なもので、その名はよく知られている。

利用部位：花期の地上部
薬効：利尿、緩下、解毒



キキョウ
(キキョウ科)

観賞用としてもよく栽培され、よく知られている植物。

利用部位：根
薬効：鎮咳去痰、のど痛



イカリソウ
(メギ科)

花の形が不思議な形をしており、「船の碇」に似ることが名の由来。

利用部位：地上部
薬効：強精強壮



カワラケツメイ
(マメ科)

健康茶として、古くから利用されている。

利用部位：全草
薬効：利尿、緩下

参考資料：薬草ガイドブック野外編(日本植物園協会)、四季の薬草(東京都薬用植物園)

第26回 野草園の魅力を探る

写真コンテスト入賞作品

第26回写真コンテストにご応募いただき、ありがとうございました。

第27回となる令和2年度のコンテストでは、応募されたすべての方々の作品を自然学習センターに展示し、ご覧いただく予定です。作品は9月に募集いたします。ふるってご応募ください。



最優秀 『光のシャワー』 沼沢士郎さん



優秀 『吉林におよぐ』 伊藤和男さん



優秀 『食事中』 大道寺市三郎さん



優秀 『待春』 沼沢麗子さん



第26回山形市野草園写真コンテストの審査を終えて

「自然と人間の共生」をテーマに開園した野草園の歴史と共に、平成6年から歩んできた野草園の魅力を探る写真コンテストも26回目を迎えました。今回は、55人から182点の応募がありました。

応募作品全体を見ますとアサギマダラを代表とするチョウの写真が多いのは止むを得ないのですが、野草園に咲く花等をアップ気味に捉えた作品が多かったのも印象的でした。また、対象をストレートに撮るだけでなく、広角レンズを使ったり、カメラを回したり、組写真にしたりと工夫も感じられました。

さて、最優秀となりました沼沢士郎さんの「光のシャワー」は、レンゲショウマの花に止まったナツアカネが羽を休めている姿を捉えたものですが、全体の色調をブルー系に統一し、トンボと花を逆光で浮き上がらせるように撮影した画面構成力は素晴らしいものです。静寂さを感じさせる落ち着いた雰囲気を持つ1枚に仕上がっています。

優秀賞の伊藤和男さんの「吉林におよぐ」は、友好姉妹都市ゾーンの“吉林の庭”にある池に咲くスイレンとニシキゴイを捉えた作品です。ピンクのスイレンの花と白いコイの姿が対照的に配された美しい作品となりました。タイミングよくコイが泳いできた瞬間を捉えたシャッターチャンスにも恵まれた作品に仕上がりました。

優秀賞の大道寺市三郎さんの「食事中」は、ワイルドベルガモットの花から蜜を吸うハチの姿を捉えたモノですが、望遠レンズでバックをぼかし、薄いピンクの花とハチを適正な露出で捉えており技術的にも優れた作品です。目の前にある自然をととても美しく表現できる技量を持った素晴らしい作品です。

優秀賞の沼沢麗子さんの「待春」は、雪の下から覗くフクジュソウとオオミスミソウの花を2枚組写真で構成した作品です。タイトルの通りに春を待つ植物の姿が美しく表現されました。このような場面を見過ごすことなく写真に捉えることが出来るのも日頃の“見る目”が成せる技ではないかと思います。

入選作品にも野草園の魅力をつ捉えた優れた作品がありましたが、独自の視点で捉えている点で上記の作品に一步届かなかったと感じました。

最優秀・優秀をはじめ、入賞されました皆さん、おめでとうございます。

今後とも「自然と憩いと安らぎ」を求めて野草園を訪れる人々と自然との触れ合う姿を皆さんの感性で撮影していただき、野草園の魅力を引き出していただける素晴らしい作品創りに励まれますようご期待いたします。

令和元年10月
審査員代表 阿部 直美



令和2年度

イベント日程

野草園プレオープン 令和2年3月28日(土)・29日(日)、開園日 4月1日(水)

無料開放日 5月4日(月)〈みどりの日〉・7月5日(日)〈市制記念〉

65歳以上無料 9月21日(月)〈敬老の日〉

※都合により日程や内容の一部が変更になる場合があります。



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

展示

野草園写真展(紅の蔵)	4月1日(水)～21日(火)
第26回写真コンテスト入賞作品展	4月下旬～7月上旬
絶滅危惧植物パネル展	7月中旬～8月中旬
東南北3県ボタニカルアート作品展	8月30日(日)～9月27日(日) ※9月13日(日)展示入替え
第27回写真コンテスト作品展	10月中旬～11月下旬
野草園写真展(山形市役所)	令和2年3月中旬

観察会

ガイドウォーキング	①4月から11月までの毎週日曜日に祝日 ②入園者が多く見込まれる時期の土曜日
バードウォッチング	4月11日(土)、6月13日(土) 11月7日(土)
観察ウォーキングとお茶会	4月～10月の第2・第4木曜日
四季観察会	4月下旬、7月中旬、10月下旬 令和3年 2月中旬、令和3年 3月中旬
ホテル観察会	6月下旬～7月中旬の火・水・金・土・日曜日
星空を見る会	7月、8月

イベント

サクラ祭り	5月2日(土)～6日(水・振休)
お山マルシェ	7月18日(土)
お山フェス	9月6日(日)
アサギマダラ祭り	9月19日(土)～27日(日)
キッズスノーパーク	令和3年2月下旬
冬のお山の雪遊び	令和3年2月末

博物館実習

博物館実習	8月18日(火)～23日(日)
-------	-----------------

コンテスト

第27回野草園の魅力を探る写真コンテスト	募集期間:9月上旬～下旬
----------------------	--------------

体験教室

カブトムシの育て方教室	4月中旬
山野草の育て方教室	6月、10月
初心者写真撮影教室	6月上旬
薬草講座	6月
樹木の剪定教室	7月上旬、10月上旬
虫博士と遊ぼう	7月下旬、8月上旬
木工工作教室	7月下旬、8月上旬
テラリウム教室	7月下旬
ブリザーブドフラワー教室	8月
ボタニカルアート体験講座	9月26日(土)
ハーブスワッグ教室	10月中旬
ギャザリング教室	10月下旬
ガーデニング教室	11月上旬

共催事業

薬草と薬膳を楽しむ健康ウォーキング 主催: 株萬屋薬局 共催: 野草園	秋
ノルディックウォーキング 主催: IDEHA 共催: 野草園	10月
スノーハイク体験ツアー 主催: IDEHA 共催: 野草園	2月の土・日

その他

開園記念 花苗プレゼント	4月1日(開園日)
工作コーナー	7月下旬～8月中旬
山の日記念 花苗プレゼント	8月10日(山の日)
きのこ汁振舞い	10月中旬
焼き芋・焼きマシュマロ振舞い	10月下旬
家屋新築記念樹交付(市事業)	5月、10月

【開園時間等】

- 開園時間 / 4月～ 5月 9:00～16:30
6月～ 8月 9:00～18:00
9月～11月 9:00～16:30
- 休園日 / 毎週月曜日(ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日)
(4月第3月曜日から6月第2月曜日まで無休)
- 冬期休園 / 12月～3月
- 入園料 / 大人: 300円 高校生以下: 無料
○団体割引(20人以上の場合) / 大人: 240円

【交通案内】

- J R 山形駅より山交バス路線バス西蔵王・野草園行き(約30分)終点下車すぐ
- 山形自動車道蔵王I.Cより西蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ(約15分)
- 国道13号より、県道53号経由または市道三本木線経由(約10分)



野草園だより

編集・発行 / 山形市野草園



57号 / 令和2年3月発行(年1回発行)

〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3

TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

野草園のホームページ
<https://www.yasouen.jp/>

